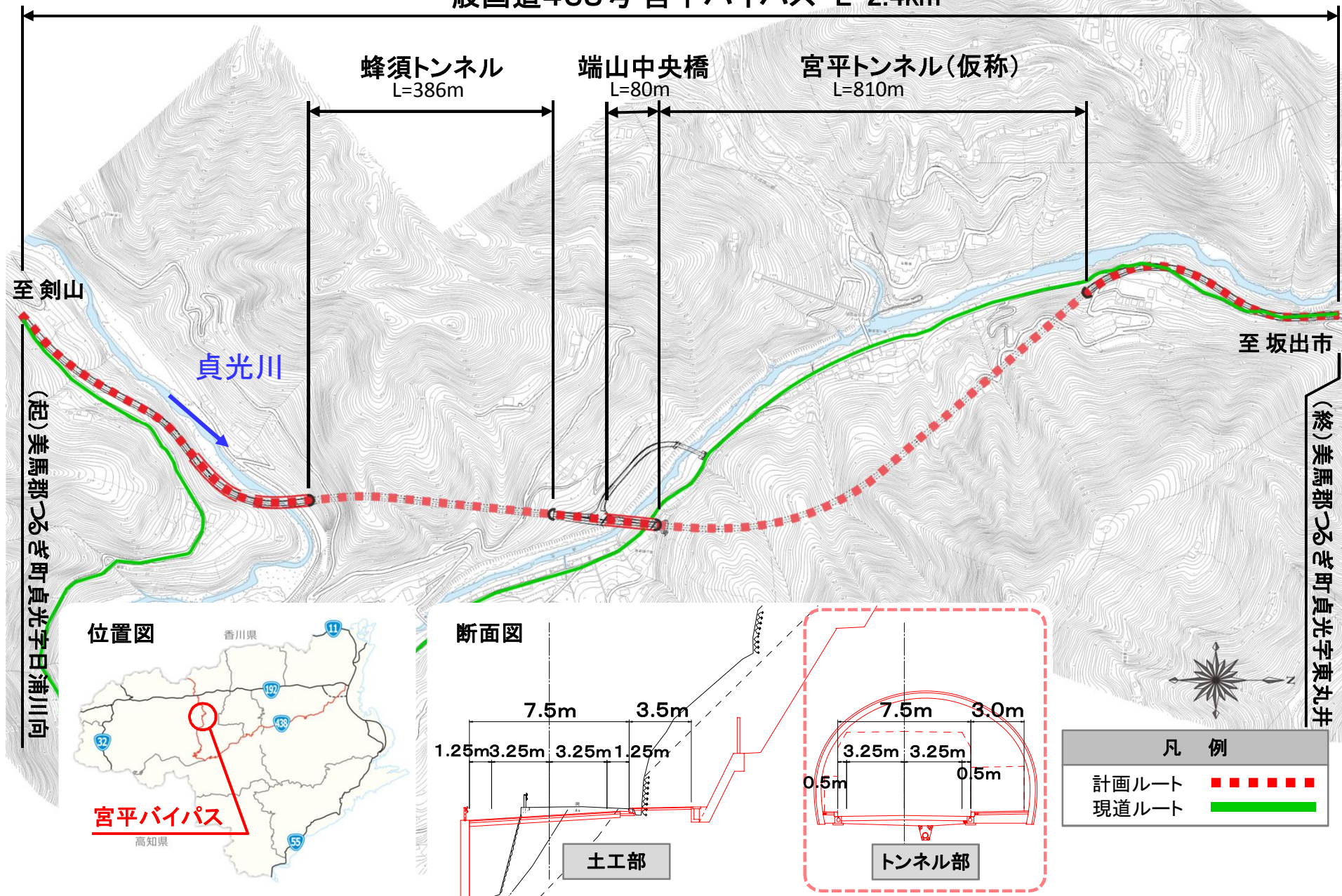


再評価【番号6】

一般国道438号
宮平バイパス

1. 事業概要

一般国道438号 宮平バイパス L=2.4km



2. 現道の道路交通上の課題



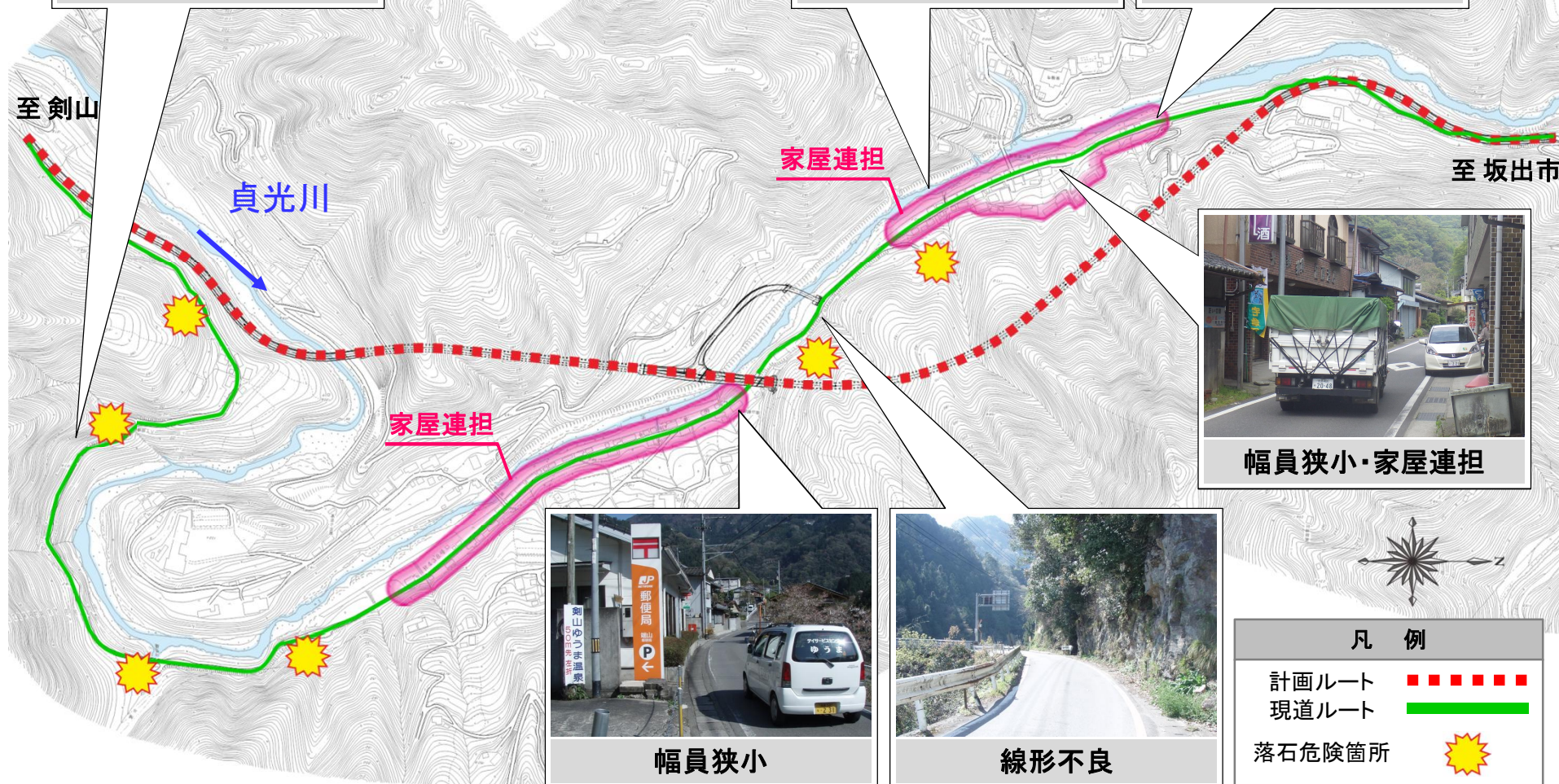
H22.7.20崩落状況



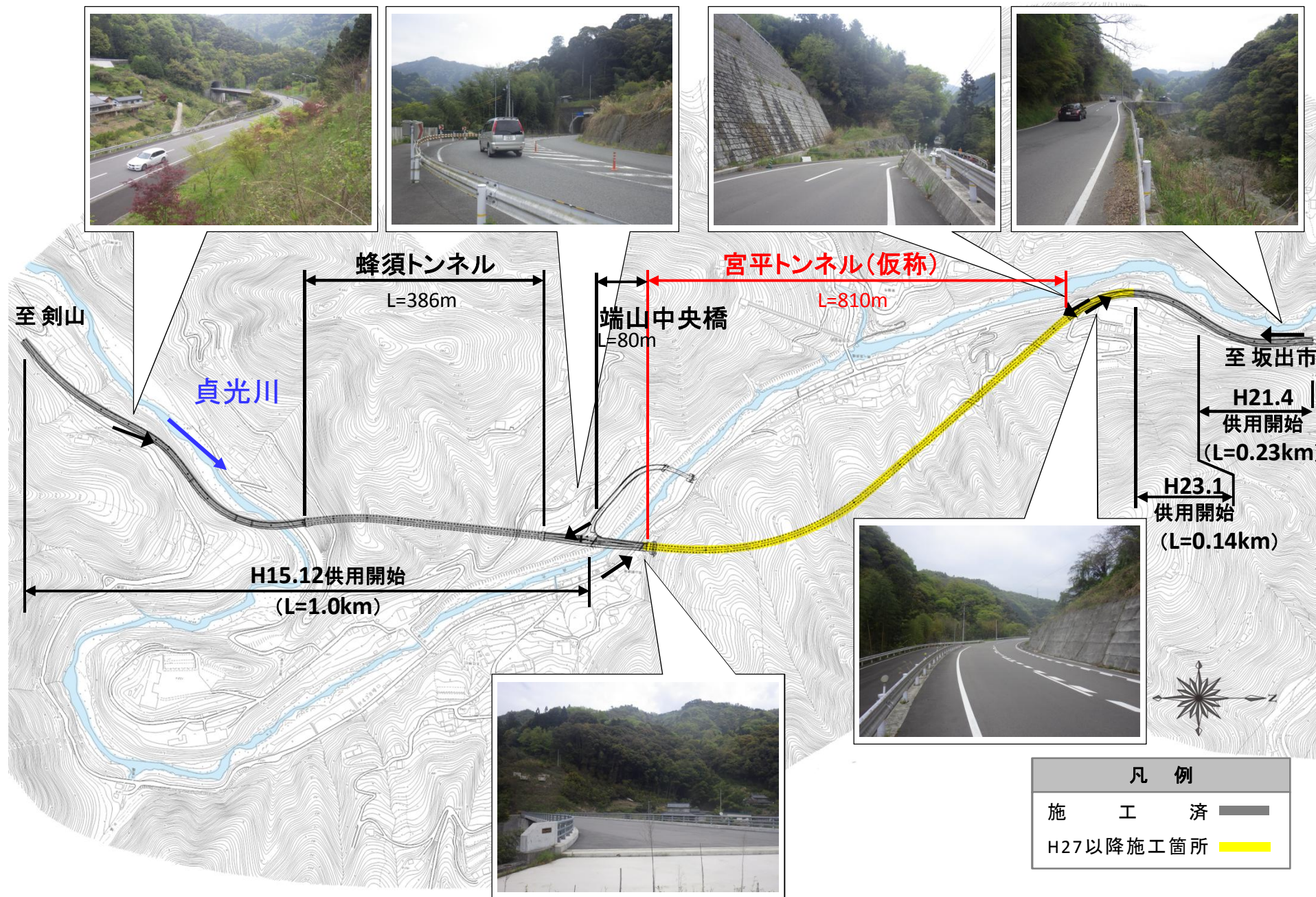
幅員狭小・家屋連担



幅員狭小



3. 事業の進捗状況



4. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

- ・ 走行時間短縮便益
 - ・ 走行経費減少便益
 - ・ 交通事故減少便益
- 計 **94億円**
(現在価値化後)

※費用C=84.4億円 (現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 1.1$$

+

その他の便益

医療

- ・ 救命率の向上効果

計 **20.9億円**
(現在価値化後)

20.7億円

環境

- ・ 大気汚染や温暖化防止効果

0.2億円

(参考) その他の便益を含む $\frac{B}{C} = 1.4$

貨幣価値に表れない整備効果

防災・減災

- 緊急輸送道路ネットワークの強化
⇒ 道路の走行性、安全性が向上
- 災害拠点病院等へのアクセス強化
⇒ 地域防災力の向上

安全・安心

- 安全・安心の確保
⇒ 安全性の向上
地域住民の安全・安心の保証
- 救急車両のアクセス向上
⇒ 地域住民の安心感の向上

産業振興

- 観光地へのアクセス強化
⇒ 観光を中心とした産業振興

5. 道路整備による多様な効果①【貨幣価値換算可能な整備効果】

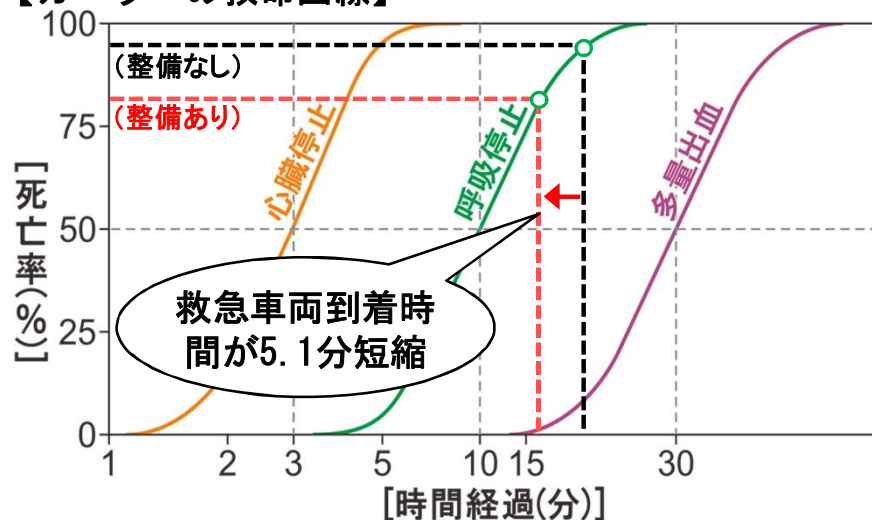
◎その他の便益

医 療

■救急医療へのアクセス向上効果

- ・ 美馬西部消防署から集落までの**救急車両到達時間が短縮**されることにより、**救命率の向上**が見込まれる

【カーラーの救命曲線】



- ・ 呼吸停止後の死亡率が**約15%低減**

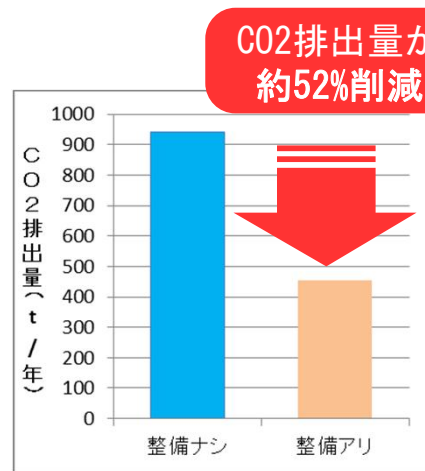
救命率の向上効果 : 20.7億円

環 境

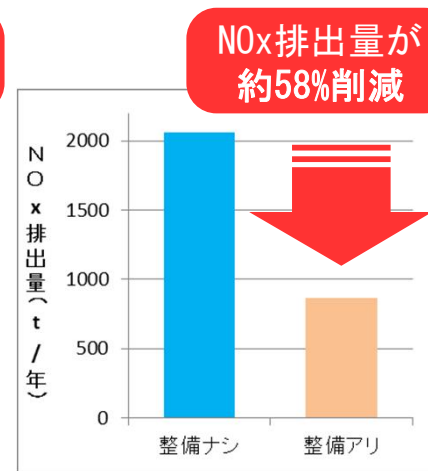
■大気汚染や温暖化防止効果

- ・ **CO₂、NO_xの排出量が抑制**されることにより、**大気汚染・温暖化防止効果**が見込まれる

【CO₂排出量】



【NO_x排出量】



大気汚染・温暖化防止効果: 0.2億円

5. 道路整備による多様な効果②【防災・減災】

【防災・減災】災害に強い道路ネットワークの構築

①緊急輸送道路ネットワークの強化

- ・幅員狭小の解消・落石危険箇所の回避

➡**走行性・安全性の向上により、物資輸送等が円滑に**

②災害拠点、避難場所へのアクセス強化

- ・災害拠点病院である町立半田病院など、防災拠点へのアクセス性が向上

➡**地域防災力の向上により、災害への確実な備えに**

【安全・安心】地域内の安全な通行の確保

①安全安心の確保

- ・家屋連担区間内を通過している幅員狭小な現道を迂回

地域住民の安全を確保

- ・家屋連担地における歩道整備

歩行者の安全を確保

②地域住民の安心感の向上

- ・道路整備により、救急医療のアクセス向上

地域住民の安心感の向上



家屋連担区間の通行状況



5. 道路整備による多様な効果③【産業振興】

【産業振興】地域経済の活性化

①観光地へのアクセス強化

・にし阿波～剣山・吉野川観光圏内へのアクセスの向上 ⇒観光を中心とした地域振興



6. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

- ・ 走行時間短縮便益
 - ・ 走行経費減少便益
 - ・ 交通事故減少便益
- 計 **94億円**
(現在価値化後)

※費用C=84.4億円 (現在価値化後)

$$B/C = 1.1$$

+

その他の便益

医療

- ・ 救命率の向上効果
- 計 **20.9億円**
(現在価値化後)

20.7億円

環境

- ・ 大気汚染や温暖化防止効果
- 0.2億円

(参考) その他の便益を含む $B/C = 1.4$

貨幣価値に表れない整備効果

防災・減災

- 緊急輸送道路ネットワークの強化
⇒ 道路の走行性、安全性が向上
- 災害拠点病院等へのアクセス強化
⇒ 地域防災力の向上

安全・安心

- 安全・安心の確保
⇒ 安全性の向上
地域住民の安全・安心の保証
- 救急車両のアクセス向上
⇒ 地域住民の安心感の向上

産業振興

- 観光地へのアクセス強化
⇒ 観光を中心とした産業振興

■ 今後の対応方針(案)

事業継続